

# 平成29年11月3日

## あやべ市民新聞(4面)に掲載されました

日東精工の社員有志 12日のこんぴらさん前に

### 忠町の復旧作業に助力

住民ら「無事に祭り迎えられる」

先月の台風21号による増水で、忠町では市道の一部が冠水して流木が路肩に積み上がる被害が出る中、10月28日には同町自治会（八木秀夫会長、38戸）の

復旧作業に日東精工（本社・井倉町）の社員ら二十数人が有志で加わった。3時間ほどの作業で、被害に遭つた400㍍ほどの市道はすっかり元通りに。今月12日には町内で「建田のこんぴらさん」を控える中とあって、住民らは心温まる支援に感謝している。

同町内では、日東精工が5年ほど前から「京都モデルフオレスト運動」の一環として町有林

復旧作業で元通りになった市道

路肩に積み上がった流木を片付ける日東精工社員と地元住民ら（写真はいずれも忠町で） 同町自治会提供



当日まで期間が短く、住民の協力を得て復旧できるか不安だった。若いみなさんの協力のおかげで、無事に祭りが迎えられる」と喜んでいる。